

平成26年度

予算編成方針を定めました



安倍政権による経済政策「アベノミクス」と2020年夏季五輪の東京開催決定により、経済成長が期待される一方で、平成26年4月1日から消費税の増税が決定し、今後の市政運営への影響が懸念されます。

このような状況の中、国や県の今後の動向を把握し適切な対応をしながら、市の施策を確実に展開するため、平成26年度の施策の方向性と予算編成方針を次のように決めました。

予算編成の基本方針

本年10月に策定した平成26年度から平成30年度までの5か年を計画期間とする財政計画では、市町村合併により特例的に優遇されている普通交付税が平成27年度から段階的に縮減されるこ

とで、平成30年度の財政収支見通しは大変厳しい状況となつていきます。このような状況の中で、施策の基本方針に沿い、限られた財源で、市の役割や施策の緊急度、重要度を的確に判断し、市民に寄り添った真に必要な行政サービスを見極め、メリハリのある予算編成を行います。

予算編成に当たって 目指す主なポイント

- ◆ 中長期的な視点に立った健全な行財政基盤の確立
- ◆ スピード感のある市民サービスを提供
- ◆ 重点取組事項への重点的予算配分
- ◆ 事務事業の整理合理化による行財政改革の推進
- ◆ 新たな発想や創意工夫による都市経営マネジメントの推進

施策の基本方針

平成26年度は、地域に元氣やにぎわいがあふれ、あらゆる世代の人々が将来に希望を持つことができるまち、「希望都市 まいばら」を目指し、その実現に向けて左記の重点取組事項を推進します。

さらに、諸施策の取組成果や後期基本計画に引き継いだ課題等を踏まえ、知恵と創意工夫などによって特に優先すべき施策を「選択と集中」により、スピード感を持つて実施します。また、総合計画後期基本構想に掲げる政策の5本柱（いきがい、安心、快適、安全、活力）に基づき、戦略的な取り組みを積極的に展開します。

【重点取組事項】

- ① 子どもや高齢者、女性にやさしいまちづくり
 - ・子育て支援施策の充実により県内で一番子育てしやすいまちをつくります。
 - ・高齢者が安心して暮らせる地域づくりの推進と女性の市政参画を支援します。
- ② 暮らしに安心、地域が元気なまちづくり
 - ・保健、医療、福祉の連携強化を図り、生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくります。
 - ・一級河川のしゅんせつや老朽橋の改修など災害に強いまちを整備します。
 - ・農林水産業、商工業などを振興し、活力のあるまちをつくります。
- ③ 未来へたしかな歩みをはじめるまちづくり
 - ・米原駅東部区画整理事業の早期完結と、市内道路や交通結節点を生かしたまちを整備します。
 - ・自然や歴史の観光資源を全国へ情報発信します。
- ④ 市民の声で市民とともに築くまちづくり
 - ・農業者や地域の声を活かした有害鳥獣対策を進めます。
 - ・地域の主体的なまちづくり活動を支援します。